

# おだか

第 3 2 号

2 0 1 5

平成 27 年 2 月 25 日 (水)

南相馬市

小高小学校

学校だより

## 6年生を送る会



6年生から

3月3日、「6年生を送る会」が行われました。在校生は、卒業を祝うと共に、これまでのお世話に感謝する気持ちでいろいろなゲームを企画し、楽しいひとときを過ごしました。

運営は、5年生です。6年生からのバトンを受け継ぎ、会場の飾り付けや進行、終了後の後片付けなど一生懸命に活動してくれました。

児童会代表の松本匠雲君の挨拶があり、その後「大玉運び」「フリスビードッジボール」「しっぽとりゲーム」「マット運びゲーム」などのゲームを学年ごとに行いました。教職員も歌を一曲プレゼントしました。(曲名は、お子さんからお聞きください。) 6年生からは、お礼の言葉とともに「街は光の中に」の曲を歌ってもらい、最後は校歌を合唱しました。



大玉運び



しっぽとりゲーム



フリスビードッジボール



マット運びゲーム

# お知らせ

**6日(金)は授業参観です。**

今年度最後の授業参観となります。学習や生活の成長の様子や、学力の状況など担任からお知らせします。また、小高区の教育施設再開についての現状や、ご意見などもうかがえればと考えております。

## **8日(日)本校の仮設体育館から、NHKの生放送!**

「震災から4年 つなげよう」というテーマで、NHKが仮設体育館から生中継を行います。すでに配布されていますプリント「記憶の街ワークショップ in 小高」に詳しく載っていますが、仮設体育館に小高区の復元模型を作る企画です。中学校にも駐車できますので、お時間があれば、ぜひ体育館においでください。すてきなゲストも参加します。

## 平成26年度 学力調査結果

南相馬市では、児童・生徒の学力について、3学期はじめに、全学年対象に国語科と算数科について標準学力検査を行っています。1年間の学習が児童にどれだけ身についたかを知り、教師の教え方、学ばせ方についても確認するために行っています。本校児童の結果は以下のとおりです。

### 国語科の学力調査結果

国語科の正答率（正解する割合）を全国の正答率と比較すると、全国を上回っているのは6学年中4つの学年です。特に、「書くこと」「書く能力」が優れています。一方で、「読むこと」や「言語についての知識・理解・技能」の正答率が全国平均と比較して下回っている学年があり、この力を伸ばす必要があります。

また、「基礎」と「活用」について比べてみると、「基礎」は身につけているが、「活用」の力が不足している学年がやや多いようです。学習した言葉の知識を、具体的な場面で使いこなす力を伸ばす必要があります。

### 算数科の学力調査結果

算数科の正答率を全国の正答率と比較すると、6つの学年のうち5つの学年が上回っています。特に、「図形や数量についての技能」が優れています。また、苦手とする領域や観点を見ると、傾向が学年それぞれに違っています。強いて言えば、「数学的思考方」や「量と測定」などが不得意のように感じます。

また、「基礎」と「活用」について比べてみると、ほとんどの学年がどちらも全国を上回っていますが、2つ学年が「活用」の問題で全国平均の正答率を下回っています。

### 同一集団の成長（経年比較）の様子

この調査では、1年生を除いて、過去にさかのぼって学力の成長の様子を比べることができます。国語科では、成長を続けている学年が4つ、鈍化している学年が1つです。算数科も同様で、全体に伸びていることが分かりました。

学力テストは、あくまで現時点での評定です。私たちが児童に身につけさせようとしているものは、生き抜く力であり、自ら課題を解決しようとする意欲です。このための資料として、今後も指導に生かす取り組みを進めて参ります。

